漢文入門

故事成語　―訓読―

蛇足

楚に祠る者有り。其の舎人に巵酒を賜ふ。舎人相謂ひて曰はく、「数人にて之を飲まば足らず、一人にて之を飲まば余り有り。請ふ地に画きて蛇を為り、先づ成る者酒を飲まん。」と。一人の蛇先づ成る。酒を引きて且に飲まんとす。乃ち左手もて巵を持ち、右手もて蛇を画きて曰はく、「吾能く之が足を為る。」と。未だ成らざるに、一人の蛇成る。其の巵を奪ひて曰はく、「蛇固より足無し。子安くんぞ能く之が足を為らんや。」と。遂に其の酒を飲む。蛇の足を為る者、終に其の酒を亡へり。